

# 鋭い質問で町政に斬り込む！

## 中学生議会

12月20日に多古中学校2年生による模擬議会が行われました。政治を身近なものに感じるとともに、町議会や行政、町民が果たす役割について理解を深めようとするもので、12名の中学生議員が登壇し、日頃感じていることについて一般質問を行いました。その内容を要約してご紹介します。



議長の押田 龍進さん(左)と副議長の佐藤こはるさん(右)

**1 選挙の投票率向上に向けた取り組みは**



飯田 悠仁さん

**問** 町議会議員選挙の投票率が有権者の7割だったと知りました。インターネットやQRコード、コンビニの活用で投票率が上がると思うのですが。

**答** 総務省ではインターネット投票の検討や実証実験を行っているため、いずれの市町村においても環境が構築されていくと思います。一方で、現行の公職選挙法では立会人が同席する決められた投票所での投票を原則としているため、インターネット投票の解禁は、国が法整備をしない限り実現できません。

(総務課 庶務係長)

**2 安心・安全な道を**



秋原 かのんさん

**問** 中央車線のない道の拡張や歩道の整備は、現実的に厳しいと思います。中学生の登校時間だけ一方通行の制限を設けられないでしょうか。

**答** 一方通行の制限は交通規制であるため判断は警察が行います。一方通行で不便となる方もいるため地域の方とも協議が必要です。町では、道路に色を塗り、車道でないことをわかりやすく示すなど、様々な安全対策を実施しています。

(都市整備課 建設係長)

**3 デマンドタクシーのルートの増加を**



飯田 結南さん

**問** デマンドタクシーを利用したくても中村地区のルートが非常に少なく、乗り場が2キロメートル以上離れているところもあります。タクシーのルートを増やすことはできませんか。

**答** 循環バス廃止に伴う実証運行のため、中学生の利用は、登下校時に限り、乗車区間は、旧循環バスのバス停からコミュニティプラザ間としています。皆さんの利用状況などを鑑み、利用対象、運行範囲の拡大など今後の公共交通のあり方についての検討材料とします。

(企画政策課 企画政策係長)

**4 みんなが暮らしやすい町のために**



飯田 七星さん

**問** 高齢化が進んでいますが、居住地区によって社会参画の機会や暮らしやすさが平等ではないように感じます。市街地以外に住む高齢者への配慮はどのように考えていますか。

**答** 町では地区を6つに分け、地区毎の課題を整理しています。不便というものを一手に解消することはできませんが、高齢者になっても地域で自分らしく、元気に活動し、暮らし続けたいことができるような取り組みを考えていきます。

(保健福祉課 包括支援係長)

**5 空港開発に伴う移転者対策は**



齊藤 知花さん

**問** 成田空港の第三滑走路の開発により騒音地区や立ち退きにあたる地区の方の移転先がまだ見つからない状況と聞きました。多古台はほぼ埋まっており、新しく住宅地を開発する必要があると思いますが。

**答** 空港敷地となる地区にある住宅や企業等の移転は、事業の実施主体である、成田国際空港株式会社、通称「NAA」が、移転先の確保や補償を行っています。町内の移転先を確保するため、多古台バスターミナルの隣接町有地を移転代替地としてNAAへ売却したほか、移転先の候補地となった五辻地区で住民説明会を開催するなどさまざまな協力をしています。

(空港まちづくり課 空港地域振興室 空港地域振興係長)

**6 スポーツ施設の拡充を**



高木 啓太郎さん

**問** 西古内球場では少年サッカーチームと少年野球チームが譲り合いながら利用していると聞いています。これでは思うように練習ができませんし、危険が伴います。新しい野球場やサッカー施設を望みます。

**答** 新しい野球場やサッカー場の整備は現状、難しいと考えています。野球場は、西古内グラウンドのほか、町民野球場があり、部活動や大会がない

日は利用することが可能です。サッカーは久賀小学校のグラウンドも利用できますので、スポーツ協会の会議等で関係者の方々にお知らせしたいと考えています。

(生涯学習課 社会体育係長)

**7 学習の質を高めるために**



白鳥 愛さん

**問** 普段の学習でタブレットを有効的に活用していきたいと考えていますが、タブレットの通信速度やスペックの問題で授業が滞ってしまうことがあります。機種のグレードアップはできませんか。

**答** 10月からICTアドバイザーを各学校に派遣し、考えられる原因と改善策を確認してもらい、各学校に伝えました。今後も安定した通信ネットワーク環境を提供していきます。令和8年度には、耐用年数・経年劣化を勘案し、機器等の更新や見直しを行いたいと考えています。

(学校教育課 学校教育係長)

**8 安心できる水道水を**



山崎 菜々さん

**問** 多古町の水道水は地下水をくみ上げていますと聞きました。運び込まれた廃棄物が、長い期間を経て地下水に浸透しても水質に問題はないのか心配です。

**答** 多古町の水道水は、埋立て開始後においても、定期的に土壌や水質

**9 暮らし続けたい町にするために**



鈴木 真斗さん

**問** 多古町で暮らし続けたいと思う町にするために企業の誘致が必要だと考えます。アウトレットのような総合型商業施設の方が多くの年齢層を集客でき、人口の増加や暮らしやすさに寄与することができると考えます。

**答** 企業は、様々な角度からマーケティング分析を行い、進出の是非を判断することが大前提です。暮らし続けたいと思うまちづくりを実現するため、商業施設の進出によるメリット、デメリットを検証し、地域住民や商業者等の意見を十分に踏まえ、地域の魅力を引き出しながら、持続可能なまちづくりを推進していきます。

(空港まちづくり課 空港地域振興室 企業誘致係長)

**10 コンパクトシティへの考えは**



飯田 桃萌さん

**問** 建物や施設が集中しているコンパクトシティは、エネルギーを効率的に利用することができます。町の魅力が向上し、観光や経済的な活性化

### 模擬議会を終えて

石橋幸則 校長

今日の議会に向けて中学2年生を中心に日常の生活の中で感じた疑問、その改善策を話し合い検討してまいりました。12名の代表による一般質問でしたがそれぞれの質問には傍聴していた2年生のみならず多古中生全員のより良い町づくりへの願いや思いが込められています。本日の中学生議会がこれからの多古町の発展につながる何かのきっかけになれば素晴らしいことだなと思っています。

〈謝辞〉

生徒会長 藤原 知花さん

本日は貴重な機会を与えていただきありがとうございます。町議会に参加することができ、議員の方や役場の方が多古町民のために頑張ってくれていることを改めて感じました。また、議会の流れや内容を学ぶことができました。この経験を活かして私たちが多古町民として少しでも地域に貢献していけるように考えていきたいと思っております。本当にありがとうございます。

**12 給食の量やメニューについて検討を**



大貫 隼さん

**問** 量やメニューをもっと充実してほしいです。多古町の給食をこれからも美味しくいただきたいのでよろしく願います。

**答** 学校給食には学校給食摂取基準があり、給食1食で摂取すべき栄養価が決まっています。今までと変わらず、安全・安心でおいしい給食を提供できるように、引き続き努力してまいります。

(学校給食センター 学校給食係長)